

## ■スマート証憑管理\*について

\*2022年11月時点の「証憑管理サービス(ベータ版)が今後進化

**顧問先へのアップロードですが、スキャナー等がない場合の携帯で写真をとってアップロードする携帯アプリの予定はありますか？**

スマート証憑管理ではメールに添付されたファイルを直接読み取ることが可能になっています。  
したがって、スマホ等で資料を取ってもらったものを、所定のメールアドレスにお送りいただくことでスマート証憑管理に取り込むことができます。

**同じ請求書を2回OCRでアップデートしてしまったときはだぶりになっていることをお知らせしてくれるのですか？**

同じ請求書を2回OCRでアップデートしてしまった場合、重複チェックはかける予定となっております。

**証憑管理サービスにレシートなどの証憑のスキャン取込みは、証憑アップローダーと同様に簡単にできますか？**

証憑アップローダーと同様に、マウスでファイルをドラックすることや、取込したいファイルを指定することで簡単にアップロードできます。

**紙での請求書もまとめてスキャンしたデータを証憑管理サービスで読み取れば楽なのですが、そこも現在では不可能ということでしょうか？**

スキャナの仕様にもよります。  
読み取った証憑を別々にファイル化する機能があれば、対応可能となりますが、1つのファイルに1つの証憑の状態  
でアップロードいただく必要がございます。

**記帳代行で、顧問先からA4の紙に複数枚のレシートを貼ったものをスキャンしてPDFで送られてくる場合があります。そのような場合は、どのように対応するのでしょうか？**

複数枚レシートを貼ったものをスキャンして1ファイルになっていると、正しく読み取ることができません。ご要望  
として承りますが、現状は大変お手数ですが、1つのファイルに1つの証憑の状態  
でアップロードをしていただけますようお願いいたします。

**レシートからの入力が多いのですが、どのように対応していけばよいでしょうか。**

ぜひスマート証憑管理をご活用ください。スマート証憑管理を利用してレシートをアップロードいただければ、弥生  
会計製品から証憑ビューアーにより各種レシートをご確認いただけます。

**スマート証憑管理を利用時に、一請求書の取込にかかる時間はどのくらいを想定しておりますでしょうか。パソコン  
やネット環境、取込む請求書のファイルサイズによって変わりますが、何かしらの性能目安がわかるのであれば  
知りたいです。**

パソコンやネット環境、取込む請求書のファイルサイズによって変わりますが、概ね数秒程度でアップロード可能と  
見ております。

**スマート証憑管理でアップロードしたPDFデータはどこに保存されますか？**

アップロードしていただいたデータは、スマート証憑管理上に保存されます。

**証憑のアップロードは、スマホやタブレットからの操作も可能ですか？**

スマート証憑管理は、Windows、Macのブラウザでのみご利用いただけます。スマートフォンやタブレットでの  
ご利用は推奨しておりません。

#### 証憑管理の確認は一括で行うことはできませんか？

多くのご要望を承っており、今後開発予定でございます。

#### まずは当税理士事務所の発行証憑から自動化をして、クライアントにおススメしたいと思いますが、Misocaは現状、源泉徴収がある場合に自動取り込みができないと聞いたのですが、本当でしょうか？

源泉徴収がある場合の自動取込に関しては、現状では請求書の送信・会計連携ができないため、今後対応予定でございます。

#### 他社ソフトでは取引先名から適格請求書発行事業者かどうかを調べる機能が付くようですが、弥生会計でそのような機能が付く予定はありますか？

取引先名は重複する可能性があるため、事業者登録番号を国税庁APIに照合することで適格事業者か否かを確認しております。

上記、機能は弥生会計と連動するスマート証憑管理で対応しております。

#### 証憑管理サービスは外貨（ドル、人民元）は対応する予定ですか？

現状対応予定はございません。

#### 弥生会計（デスクトップ）のソフトからスマート証憑管理に飛ぶことは可能でしょうか？スマート取引取り込みと同様の認識でよろしいでしょうか？

会計ソフト画面から直接証憑管理サービスの画面を起動する仕様は現状対応しておりませんが、検討中でございます。

#### すでに計上した仕訳に あとから証憑を紐づけることは可能でしょうか。

こちらは検討中でございます。

#### スマート証憑管理は、会計事務所内で利用する場合、特定の会計ファイルと紐づけて（連携させて）使うようなイメージになりますか。

ご認識の通りです。記帳代行支援サービスの枠組みの中での利用となり、弥生会計の事業所データに紐づけてご利用いただく予定です。

#### 記帳代行でのリリース（来春）前の自計化での対応時（2022内のご提供予定時）はいかがでしょうか。お客さまにご案内する前に所内で利用することはできますでしょうか。

記帳代行でのリリース前に関しては、顧問先様の単独利用・会計事務所様での自社利用は可能です。

#### スマート証憑管理はもう使用できるのでしょうか？

スマート証憑管理は2022年12月末リリース予定となります。

証憑管理サービス（ベータ版）は既に提供しておりますが、OCR機能と会計連携の機能追加とあわせて、スマート証憑管理（正式版）としてリリース予定です。

#### 自計でない顧問先の会計事務所での弥生処理も、ゆくゆくは、「スマート証憑」になるのでしょうか？（弥生会計さんとしては、推奨でしょうか？）

後ほど具体的な画面のデモンストレーションを行います。自計・記帳代行ともにスマート証憑管理のご利用を推奨していく予定です。

#### AI-OCRでの作業フローとスキャンスナップでの作業フローは同じですか？違いますか？

スキャンスナップ等の製品で証憑をスキャンしていただき、該当データをスマート証憑管理サービスにアップロードしていただくことで、AI-OCRを経由してデータを登録していただく業務フローを想定しております。

#### 現行の「スマート取引取込」の機能が「スマート証憑管理」にスライドするというイメージで捉えてよろしいでしょうか。

スマート証憑管理サービスから会計連携をする際に、スマート取引取込の画面に遷移するフローを想定しております。スマート証憑管理に証憑をアップロードしていただくことで、電子帳簿保存法やインボイスの対応を行う予定です。

#### スキャンスナップ等の製品での証憑スキャンは1枚1枚ではなくまとめてスキャンしても一つ一つOCRで読み取り可能でしょうか？

残念ながら現在は、まとめてスキャンはできません。1枚1枚での読み取りとなります。

#### 自動取込アドレスによる請求書の受領ですが、URLからダウンロードするタイプのもの是对应できないという認識で宜しかったですでしょうか。

はい、ご認識の通りとなります。自動取込アドレスによる請求書の受領は添付ファイルによる取込のみとなります。

#### 証憑管理サービスにおいて、証憑の訂正削除の履歴はどのように管理されるのでしょうか

証憑管理サービス上で、修正履歴や削除履歴を確認することができます。

なお、履歴については、タイムスタンプではなく、システム上の訂正削除履歴により管理しております。

#### スマート証憑取込の手動の勘定科目設定ですが、補助科目の設定は理解しましたが、部門設定は可能ですか。

スマート証憑管理上で、部門も指定することが可能になるように準備中でございます。

#### スマート取り込み、スマート証憑管理は、排他モードのみ利用可能なのでしょうか？

マルチユーザー形式のデータでスマート取引取込を起動する場合は、排他モードにしていただく必要がございます。

スマート証憑管理については排他モードにしていただく必要はございません。

#### スマート証憑管理で請求書チェックをし、仕訳登録した後、請求書を削除することは可能ですか？

スマート証憑管理から仕訳登録後に請求書の削除は可能です。スマート証憑管理の中に削除履歴は残ります。

**証憑管理サービスは、レシートなども取り込んで、適格請求書の判定をしてくれるという事でしょうか？そうすると、既存のスマート取込みOCRに替わる上位サービスという事になるのでしょうか？**

スマート証憑管理は、インボイスや電帳法の対応を視野に入れてリリースさせていただいております。スマート取引取込の上位サービスというよりは、電帳法インボイス対応のためスマート証憑管理へ画像をアップロードいただき、そこからスマート取引取込を経由して仕訳を取り込んでいただく運用を想定しております。

**スマート証憑管理、今回のデモでは1枚1枚読み込み、データ抽出し、検証するといったイメージだったのですが、まとめて数十枚～数百枚アップロードし、いっぺんに抽出、検証、といった使い方はできるのでしょうか？**

複数枚を同時にアップロードすることができます。

ただ、複数画像が1枚に記載されている場合には対応できません。また、証憑のデータを確定するのは、1枚1枚確認する必要がございます。ただ、今後こちらの確認につきましても一覧画面で対応予定です。

**読み込んだ証憑のファイル名は自動生成されますか？**

証憑のファイル名は自動生成されません。

取り込む対象となるファイルにあらかじめ付与されているファイル名が証憑管理サービス上の証憑のファイル名として表示されます。

**簡易適格請求書について、適格請求書の判定や仕訳連携は可能でしょうか？**

はい、レシートなどの適格請求書の判定や仕訳連携も可能です。



## ■仕訳連携について

### 一度仕訳連携設定で手動で入力した内容は、同じ会社の取引があった場合は推論で反映されますでしょうか？

ご認識の通りです。仕訳連携設定で入力した科目内容は次回同じ会社の取引があった場合、設定内容が引き継がれる予定です。

### 証憑管理サービスから自動仕訳登録をした場合には、間にスマート取引取込を挟みますか？それとも仕訳登録のボタンを押したらすぐに弥生会計AEに反映されるのでしょうか？

スマート取引取込を挟みますが、意識することなく弥生会計AEに反映させることも可能です。

### 証憑管理サービスから自動仕訳の時に、士業への請求書の場合、経費部分でも課税部分・不課税部分に分けないといけません。複数科目の混在仕訳に手動の画面でできますでしょうか？

証憑管理サービスに仕訳設定に消費税区分の設定がございます。

勘定科目が同一であれば消費税区分を複数に分けて登録することが可能です。

勘定科目が複数にまたがる場合には現時点では対応ができません。

ただし、源泉税については科目が異なっても登録することができます。

### 区分記載を選んでも、80%控除がデフォルトにならないのは不便に思います。消費税率のように、日付によって経過措置割合を自動判定するようにはできないのでしょうか？

区分記載を選んでいただいた場合、弥生会計に連動する仕訳の経過措置の控除率は、取引日を元に自動判定いたします。

### 仕入税額控除額の計算で、請求書積上げ方式を前提とされているようですが、ほとんどの事業者は、帳簿積み上げ方式を採用するかと思います。対応できるのでしょうか。

検討させていただきます。

### 連携口座から仕訳をしたものに証憑を追加添付する機能はつける予定はありますか？

現在社内にて開発を検討しております。

### スマート証憑管理システムにて、自動的に仕訳を作成する場合、複合仕訳を登録することは可能でしょうか？

スマート証憑管理では、複合仕訳の登録することはできません。

ただし、例外として源泉税についてのみ複合仕訳の登録することができます。

### 仕訳連携設定は仕訳ルール等での自動仕訳はできないのでしょうか。

自動仕訳ルールの利用も可能になります。

### スキャンしたPDFを読み取って仕訳へ反映するようですが、今より読み取る項目が多くなりますが、動き、スピード面は大丈夫ですか？

業務に支障がでないようスピードを確保できるよう開発を行っております。仮に当初ご不便をかける結果となつたとしても、サービスについてはリリース後も日々改善して参ります。

#### スマート証憑管理から自動仕訳した際に、補助科目は登録されないのですか？

後ほど具体的な画面のデモンストレーションを行います。登録された取引先を補助科目の設定として登録いただく事が可能となっております。

#### 仕訳連携設定は複合仕訳はできるのですか？

複合仕訳対応については鋭意検討中です。ご要望として承ります。

#### ひとつの請求書の内容を複数の部門に振り分けるような場合は、メモ書き等をするのでしょうか

申し訳ありません。現状、仕訳入力の際に、部門ごとに按分していただく必要がございます。

ご要望として承ります。今後もより便利な機能を提供できるように努めてまいりますので、ご期待いただければと思います。

#### スマート証憑管理で確認後、仕訳書き出しを行う場合、遷移画面はスマート取引取込のような画面となるのでしょうか？読込時間も発生しますか？

スマート証憑管理から仕訳登録後の流れは、現行のスマート取引取込からの仕訳取込の流れと同様になります。読込時間については仕訳数に応じます。

#### 預金の入力をフィンテックを利用して取り込んでいる場合、スキャンした請求書と引落額及び取引先等との照合によって請求書のデータと預金仕訳取込時の仕訳との紐づけはされますか。

現状は紐づける機能はございません。ただ、証憑を紐づける必要性については検討しており、機能追加による対応をお待ちいただけますと幸いです。

#### スマート証憑管理について、請求書の発行元ごとに借方貸方の勘定科目を学習させるような機能はあるのでしょうか？

ご認識の通りとなります。ぜひリリース後ご活用ください。

## ■AI-OCRについて

### 英文インボイスもOCRで読み取り可能ですか？

現状は対応しておりませんが、ご要望として検討いたします。

### 手書きのインボイスでもOCR判定が可能ですか？

手書きのインボイスについても様式等が固定されていれば一定の読み取りは可能ですが、精度は低くなります。

### 顧問先に紹介する前に一度事務所内で領収書の写真をアップロードして課税判定の精度を確かめたいと考えています。PAP会員であれば証憑管理のデモもできますでしょうか？

事前に事務所内で精度についての検証も可能となりますので、ぜひお試しください。弥生PAP会員であれば自社利用が可能です。AI-OCR機能が追加された際はぜひご活用ください。

### AI-OCRはオートシートフィーダスキャナーに対応していますか。

オートシートフィーダスキャナーでスキャンいただいた画像データをスマート証憑管理にアップロードすることでAI-OCRの機能を利用することが可能です。

### 現行の「スマート取引取込」のPDFファイル取込(読取)機能の精度はあまり高くないという印象を持っております。今後はこの読取機能の精度も高まるものと期待してよろしいでしょうか。

スマート証憑管理のAI-OCRは学習を前提とした機能でございますので、利用いただく量とともに比例して精度が高まることを想定しております。ただ、おっしゃっていただいている通り、スマート取引取込含め、スマート証憑管理のリリース直後は精度の点でご迷惑をおかけする場面があるかと存じますが、どうぞご了承くださいと存じます。

### この精度が高まらないことには、業務の軽減は望むべくもないというのが率直な利用者としての感想です。いかがでしょうか。

おっしゃっていただいている懸念はごもっともと存じます。

精度につきましては弊社としても取り組むべき課題と考えております。

現状、開発中のAI-OCRでは、金額などの数字については実用に耐えうる高い精度を実現できるとみておりますが、一方で文字列に関しては、まだまだAIの学習を要するとの感触を持っております。今後も機能改善に努めさせていただきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

### スマート証憑管理も含めて機能精度が向上するものと期待いたします。また、私共会計事務所の多くが利用することによりAI学習データやディープラーニングにつながるビッグデータを提供することも、その精度向上に繋がると考えております。私のこの考えの方向性は間違いではないですね。

はい。ご認識いただいているとおり、多くの方にご利用いただくことで精度が向上いたします。

ぜひスマート証憑管理がリリース後ご活用いただけますと幸いです。

### AIOCRの画面操作（スピード）は、現在のスマート取引のブラウザ操作感と比較してどのような感じでしょうか

ご利用いただくタイミングや証憑の量にも依存いたしますので、スピード感を現段階ではお伝えするのが難しい状況です。スマート証憑管理がリリース後にお試しいただければと存じます。

### AI-OCRの精度についてです。テキストボックスの背景色がオレンジ色にならなかったものについては、100%の精度という認識でよろしいのでしょうか。

証憑に記載頂いている内容を読み取りが行えたかどうかのみを判定しています。

100%の精度ではないので、正しく読み取れたかどうかは目視にてご確認ください。



## ■弥生会計のインボイス対応について

スマート証憑管理の場合ではなく、弥生会計の画面上で仕訳日記帳から手入力する場合であっても、「区分記載」を選んだ時点で「経過措置割合」が80%とか50%で入力されるのでしょうか？

ご認識の通りです。取引日をもとに自動判定いたします。

仕訳の画面で適格請求書などの区分を入力するようになっていますが。

自計化顧問先に対応する税理士事務所では、これでは役に立たないのでは？基本的には自計化を顧問先をお願いしていますが。「顧問先は入力の際に消費税コード等を無視して入力しがち」です。

このままの使用で変更が行われても顧問先は「適格か否か？の欄に無頓着な入力をするだけ」ではないでしょうか。最低限「適格請求書事業者番号を入力しないと入力エラーとなる」ようになりませんか？もちろん、この入力方法以外受け付けなければまた面倒なので、オプションは必要と思いますが。

ご意見ありがとうございます。

弊社側の想定としては、紙証憑の情報をもとに直接会計ソフトに入力するのではなく、証憑管理サービスに証憑をアップロードしていただき、自動判定を行える業務フローを考えております。

一方で手入力のニーズも残ると考えておりますので、今後検討させていただきます。

大手の企業は、仕入明細書で対応するようですが、適格請求書の控への保存を、同仕入明細書に代えることはできる方向でしょうか。その場合に、端数が異なる場合もありますが、どうでしょうか。

仕入明細書に対応する予定ですが、時期についてはニュースレター等をお待ちください。端数が異なる場合につきましては適正性判定を元に適格請求書かどうかの判定を行う予定です。

請求書のアルファベット対応はできるのでしょうか？（外資系の請求書等）また、ドル表示の請求書の対応はできるのでしょうか？

取引先等のアルファベットについては対応します。一方、弥生販売、弥生会計等がドル建ての対応になっていないので、ドル建ての請求書等には対応する予定はありません。

会計入力画面でインボイス番号を入力することはできないですか？

もしくは、インボイス番号を入力する画面に跳ぶことはできないですか？

会計ソフト上での入力できないため、証憑管理サービス上での入力をお願いいたします。

会計入力画面から直接証憑管理サービスの画面を起動する仕様は検討中でございます。

家賃の口座引き落としだと、契約書と適格請求書番号を紐づけする事で毎月請求書が不要となりますが、その際に、証憑管理サービスを使用しないで仕訳入力となり、国税庁DBとの突合ができず進んでいくと考えております。適格請求書発行事業者の取下げをされたなど、上記状況で弥生側で確認する方法はありますでしょうか。

会計ソフト側での適格請求書の登録番号チェックは、ご要望として承ります。

立替金請求書、媒介請求書の対応は同でしょうか。

各種の請求書要件について取りまとめている最中となりますが、現時点では対応は難しいと考えております。仕訳に必要な項目については機能アップデートしていく予定ですのでニュースレター等のご案内までお待ちください。



**04カンファレンス資料には、経過措置中の仕入処理方法は、方式Bのご案内がありますが、税込経理の場合、どのように処理し最終集計されていくのでしょうか。**

税込経理の場合も同様で、カンファレンス資料「04\_弥生PAPカンファレンス2022秋\_ビジネスアップデート」P7の例を元にお伝えすると下記のような表示になります。

消耗品費1,100/未払金1,100

仮払消費税80/

※弥生会計上では仮払消費税は、（80）と表示されます。

**適格・非適格の消費税の区分集計表ですが、これはクリックすると明細が出てくるような機能でしょうか。もしくは、総勘定元帳の仮払消費税勘定で適格分、非適格分の明細が見えてくるという機能でしょうか?ゆくゆくは、適格の明細について費目別、インボイス付きの明細が求められるものと考えています。**

区分集計表から元帳に遷移して明細の確認も可能です。他のご質問に関してもご認識の通りでございます。

**データ入力時点で、非適格であった証憑について、後日補正があった場合には、証憑管理サービスを経由しないでの入力担当者の判断となると思いますが、その際の番号の实在性などの確認については、何らかの履歴が残りますか?履歴が残らないと、担当者が何に依拠して入力したのかがわからなくなると思います。ご確認ください。**

請求者区分チェックの履歴対応についてはご要望として承ります。

**登録事業者のWEB確認ですが、決算日など後日一括で行うことができますか?**

登録事業者のWEB確認をまとめて行うことは現状できません。ご要望として承ります。

**税込経理ですから、仮払消費税の勘定科目を使わないのでどのようになるのでしょうか**

ご指摘通り仮払消費税の科目は使いません。あくまで消費税額の表記となります。ご指摘ありがとうございました。

**今回の適格請求書の適正性判定は自計化を前提になっているかと思えます。**

**お客様が現在、エクセル形式の出納帳を作成して、ご自身で軽減税率に○を表示して区分しています。将来的に、顧問先で適正判定性を事前に判定して、何かしらの記号を使用し、スマート取引取込みにて弥生に取込み可能になるのでしょうか?**

ご要望として承り、今後検討いたします。

**最終集計は経過措置課税仕入合計に、80%を乗じて表示されるのでしょうか。**

ご指摘の通り、消費税額の合計に80%乗じて表示されます。

**弥生会計へ直接仕訳を入力する際に、**

**登録番号を入れることにより、「適格性判定」する機能は実装される予定はありませんか?**

ご要望として、今後検討させていただきます。

**顧問先が作成したエクセル出納帳より仕訳をインポートしていますが、請求書区分もインポートのマッチングリストの作成等で取り込めますか？**

請求書区分が仕訳項目として追加された後、該当項目についてもインポートが可能となります。

**弥生会計で買掛金や未払金に取引先の補助をつけている場合、その補助にインボイス番号を登録できますか？また、その場合国税庁のインボイス番号検索システムと連動しますか？この機能がついている、他のベンダーがあります。**

現状対応しておりませんが、今後検討させていただきます。

**事業所の設定で「免税・課税事業者」を選択すると思いますが、免税事業者が期の途中で課税事業者への変更となった場合、弥生会計ではどのような対応をしたらよいでしょうか。**

期中での変更に関しては以下コンテンツをご確認いただけますと幸いです。

○期中で「免税」から「簡易課税」に変更する方法

[https://support.yayoi-kk.co.jp/faq\\_Subcontents.html?page\\_id=17942](https://support.yayoi-kk.co.jp/faq_Subcontents.html?page_id=17942)

**①摘要辞書に会社名登録時に仕入れ税額控除区分も同時に登録できないでしょうか？**

**②弥生へスマート取り込み実行時に、データが確定へ自動移行するため、取り込み失敗した場合は取引を一つ一つ手動選択して、再度取り込みを実行することがとても手間がかかります。過去のデータと混ざる為、取り込み日付で探しています。取り込み日付で集計機能があればとても便利です。**

①後ほど具体的な画面のデモンストレーションを行いますが、摘要辞書に仕入税額控除区分の設定は入っておりません。しかしながら、スマート証憑管理から会計連携を行う際に、適格と区分記載の仕入税額控除区分の判定を行い仕訳化するような対応となっております。

②ご要望として承ります。

**適格請求書のチェックは登録番号が正しいのかもチェックされているのでしょうか**

はい、登録番号が正しいかを国税庁のデータベースに確認いたします。

**適格請求書発行事業者でなくなった場合は、有効性のチェックの場合に加味されるのでしょうか。**

はい、適格請求書のチェックに関しては番号と日付を国税庁DBに照会することで判断しております。

そのため、例えば適格請求書発行事業者でなくなったあとの請求書であれば、

番号および日付の観点から、非適格とシステムが判断いたします。

**請求書区分は、適格でも区分記載でもない場合は考えられませんか？**

**適格、区分記載、その他、から選べる方が有難いです。**

ご要望として承ります。現行はスマート証憑管理の請求書区分を選択しない事で、会計連携を行うと弥生会計上も請求書区分は空欄で連携する仕様となっております。

**仕入税額控除の表示について表示上100%・80%の切替ができるとのことですが、申告書への反映は100%は100%、80%は80%と言う認識でよろしいですか**

はい、ご指摘の仕様となる予定です。

**1枚のインボイスで複数科目を入力する必要がある場合、消費税はどのように入力することになりますか？消費税額の手入力が必要になりますか？**

現状は、複数税率がある場合は各々の金額を集計し、税率毎の仕訳を起票いたします。

別々の勘定科目にて複合仕訳を起票したい場合の対応については、ご要望として承ります。

**デジタルインボイスを利用した状況での質問です。他社から受領したデジタルインボイスデータでもPeppol対応のシステムであれば弥生販売や弥生会計に取込が可能になると考えてよいのでしょうか。**

はい。おっしゃる通りの認識でございます。Peppol対応のシステムであれば、デジタルインボイスのデータを弥生販売や弥生会計に取り込むことができます。

**免税事業者の会社が、期の途中である令和5年10月より適格事業者に登録し、課税事業者になる場合。弥生会計の「消費税設定」の「事業者区分」の欄の、「免税」と「課税」の切り替えが期の途中でできるようになる予定でしょうか。**

期の途中で「免税」と「課税」の切り替えができるようになる予定です。

**インボイス制度開始後は「適格」と「区分表示」で請求書区分を分けるようになりますが、経過措置終了後に適格請求書でない場合は「控除不可」となり仕入税額控除はできなくなりますが、税区分そのものを対象外とした処理は認められない認識になるのでしょうか？**

控除不可となった際の消費税申告書等の様式によりますので、誠に恐れ入りますが現時点ではご回答できかねます。

**スマート取引で確定した仕訳は摘要が簡略化（通帳どおり）されています。仕入税額控除の要件（帳簿記載）は満たしていないと思いますが、弥生さんとしてはこのあたりの対応はどのように提案されるのでしょうか。やはり手動での訂正になるのでしょうか？**

機械的な項目等に関しましては、できる限りシステムで判定できるようにしますが、

人の判断が必要な取引内容などは手入力等で補足していただく必要があると考えております。

**弥生会計単体に、適格請求書発行事業者登録番号の有効性確認の機能はつかないですか？**

適格請求書発行事業者登録番号の有効性確認機能はスマート証憑管理の機能となり、弥生会計での機能とはなりませんのでご了承ください。

**弥生AEを利用しているのですが、取引先マスターを今後作成しなくてはならないということでしょうか。**

電子帳簿保存法やインボイスに対応するため、取引先を管理する必要性が高まっています。そのため、弊社のシステムにおいても取引先マスターで別途管理する運用にシフトしていく予定です。既に補助科目で管理されている事が多いと思いますが、取引先マスターのご利用も検討していただければと思います。

**今回のインボイス入力において、適格か否かなど消費税に関する様々な初期値からの入力変更が予想されますが、環境設定のキー操作・入力において、初期値のある項目をスキップするという設定がありますが、これに加えて初期値のある項目をスキップする（ただし消費税に関する項目はスキップしない）という設定を導入される予定はございますか？**

こちらは検討させていただき、決まり次第ニュースレター等でお知らせ致します。



**取引先マスターという機能自体を今後実装するということでしょうか。それとも現在その機能がA Eに備わっているのでしょうか。**

取引先マスターについては今後追加予定です。スマート証憑管理のリリースを契機に追加する項目です。おっしゃる通り、弥生会計AEにて取引先マスターの機能追加について、提供時期については、現状の利用を考慮した上で負担のない形で提供できればと考えております。

**請求書区分について、令和5年9月30日以前のデータに80%等の入力が入っていた場合、集計の際には無視して100%控除とされますでしょうか。入力に準拠し80%控除として集計されるのでしょうか。**

結論から申し上げますと、集計の際には無視して100%控除とされます。令和5年9月30日以前の仕訳データについては、100%、80%の区別しない仕様となっております。

**デジタルインボイスの活用による業務効率化（P17）について**

**中央銀行デジタル通貨やキャッシュレス、暗号資産などの決済手段でも**

**入金消込処理はできるのでしょうか？全銀EDIシステムを介さない決済の場合についてです。**

**デジタルインボイスが利用できる大企業であれば、ほぼ適格請求書発行事業者でチェックが自動化されるメリットは少ないですが、デジタルインボイス対応できない零細中小企業や個人事業者が免税判定で、紙の請求書等を廃止できずチェックが必要であります。遠い先の話のように思えますがいかがですか。**

いただきました内容につきましては、ご利用状況を鑑み社内で検討を進めている状況です。

決定事項は追って弥生PAP事務局よりニュースレター等でご案内いたしますので、しばしお待ちいただけますと幸いです。



## ■料金・契約について

### 記帳代行で証憑管理サービスを利用する場合、顧問先様で何か契約していただく必要はありますか？（弥生商品は全て未契約と仮定）

記帳代行のお客様はPAP会員向けにご提供している「記帳代行支援サービス」をPAP会員がご契約いただくことで、本サービスの利用が可能となります。

従いまして、顧問先様は別途のご契約は不要です。

### 自計化の場合は、スマート証憑管理の利用が保守サポート加入が条件のようですが、経理代行の場合は事務所内で顧問先のスマート証憑管理は無料（現状）で利用できると考えていいのでしょうか？

経理代行の場合は「記帳代行支援サービス」のライセンスを顧問先に提供する必要があります。よって有償でのご提供予定です。詳細につきましてはニュースレター等でご案内いたします。

### スマート証憑管理の料金体系をお教えてください。

顧問先様側でデスクトップアプリの「あんしん保守サポート」に加入している、またはクラウドアプリを契約している場合は追加費用なしでご利用いただけます。

記帳代行の場合は、記帳代行支援サービスのご利用金額となります。

### 顧問先も電子帳簿保存法に対応する場合は、弥生のどのサービスを契約すればいいのでしょうか？

顧問先様でソフトを導入する場合、弥生のデスクトップアプリであれば保守サポートのご加入、クラウドアプリはご契約をお願いいたします。

インボイス対応も考慮すると、導入コストもかかりにくいmisoca等をお勧めいたします。

記帳代行先の場合は、記帳代行支援サービスの中でサービスをご提供予定です。

### 証憑管理サービスのみ契約は可能なのでしょうか？

現状は対応しておりませんが、ご要望として今後検討いたします。

### 1本のソフトで2社登録している関与先の証憑管理サービスはどうなるのでしょうか？もう1本ソフトを購入する必要がありますか？

スマート証憑管理については原則、1本のソフトで1社利用できます。2社登録されている場合のご利用については、申し訳ございませんが、方針確定後ニュースレター等でご案内いたします。

### 7年間のデータ保存も無料で行っていただけるということで、よろしかったでしょうか？

はい、顧問先様側でデスクトップアプリの「あんしん保守サポート」に加入している、またはクラウドアプリを契約している場合は追加費用なしでご利用いただけます。

### 顧問先から記帳業務を受けていますが、スマート証憑管理の料金はかかるんですか？税理士はPAP会員です。

記帳代行顧問先にてスマート証憑管理をご利用するためには「記帳代行支援サービス」のライセンスを顧問先に提供する必要があります。よって有償でのご提供予定です。詳細につきましてはニュースレター等でご案内いたします。

### 自計化していない顧問先(弥生製品の利用無し)は証憑管理サービスを利用してアップロードするのみで、アップロードされたデータを会計事務所で弥生会計に取り込めるのでしょうか？顧問先は費用負担がありますか？

証憑管理サービスにてアップロードした証憑は会計事務所側で取込可能です。

顧問先様への費用負担は現状考えておらず、今後記帳代行支援サービスの中でサービス提供予定になります。

### デスクトップ版弥生会計で家族複数人の帳簿を作成（不動産所得。それぞれ別事業所データ。）している場合、証憑管理サービスを利用するには、家族1人ずつサポート契約が必要となりますか？もしその場合、さらに共有物件があり、共有物件全体用に一事業所作成している場合は、さらに共有物件用にもサポート契約が必要になりますか？

スマート証憑管理については原則、1本のソフトで1社利用できます。2社以上登録されている場合のご利用については、申し訳ございませんが、方針確定後ニュースレター等でご案内いたします。

#### 複数の会社を経営している場合、「スマート証憑管理」上で会社別の管理は可能ですか？

スマート証憑管理については原則、1本のソフトで1社のみの管理となります。

複数社分の会計ソフトをご購入している場合はその数に応じたスマート証憑管理の利用が可能です。もし1つの会計ソフトで2社以上登録されている場合のご利用については、申し訳ございませんが、方針確定後ニュースレター等でご案内いたします。

#### もし、違う会計ソフトに移行する場合は、証憑はどのようになりますか？

新たな証憑を保存することはできませんが、既に保管済の証憑を検索/閲覧/ダウンロードすることは可能です。

#### 記帳代行支援サービスと証憑管理サービスはセットで利用する必要があるという認識でよろしいでしょうか。証憑管理サービスのみ利用するということは可能なのでしょうか。

記帳代行の顧問先の場合、証憑管理サービスを利用するには「記帳代行支援サービス」をご契約いただく必要がございます。

#### 証憑管理サービスを利用した仕訳は1仕訳あたりに料金が発生するというようになりますか？

証憑管理サービスを利用した仕訳の料金は現在検討しております。決定次第PAP会員のみなさまに、ご案内させていただきます。

#### 現状のスマート取引取込みのCSV取込みの様なイメージでしょうか。利用料は無料で、CSVで取り込むか画像データ(スキャナ)で取り込むか、違いのイメージでしょうか。

自計化の場合はスマート取引取込と同様、あんしん保守サポートのご加入でご利用可能です。

一方記帳代行の場合は、記帳代行支援サービスのライセンスが必要となります。

ただしOCRのご利用は従量課金になる予定です。詳細は決まり次第のご案内とさせていただきます。

#### 自動取込アドレスによる請求書の受領は、別途料金がかかりますか？

無料でご利用いただけます。

#### 今回紹介いただいた内容は弥生会計オンライン、スタンドアロンのアプリケーションともに活用いただけるものでしょうか？

弥生会計オンライン、デスクトップアプリの弥生製品ともにご利用いただけます。

資料でのご説明もあった通り、3月ごろ製品のアップデートが実施される予定です。

#### 弥生の証憑管理は、PAP会員として利用する場合、どのような料金体系でしょうか？顧問先へ提供するケースも含めて知りたいです。

弥生PAP会員のご利用料金についてですが、まず証憑を管理する目的のみのご利用であれば、弥生PAP会員である限り料金は発生いたしません。証憑を「AI-OCR解析をする」ことについての料金は現在社内で鋭意検討中です。

顧問先様のご利用についてですが弥生会計で自計化されている顧問先様については、証憑を管理する目的のみのご利用で、あんしん保守サポートにご加入頂いていただければご利用いただけます。

記帳代行を会計事務所で請け負っている顧問先様の場合、「弥生の記帳代行支援サービス」を会計事務所様にご利用いただくことで、顧問先様も【弥生のスマート証憑管理】へのアクセスができるようになります。

## ■顧問先とのデータ共有について

自計化している顧問先がスマート証憑管理サービスを利用している場合ですが、顧問先のデータをUSB等にバックアップして持ち帰った場合にも、証憑ビューアで顧問先がアップロードした証憑を会計事務所で見れるようになるのでしょうか？

会計データには内部的にユニークなIDが割り振られています。そのIDとスマート証憑管理の領域は1対1で紐付きま  
す。会計データをバックアップしても繰越して別データが作成されても内部的なIDは共通です。よって、会計事務所  
でも共有設定を行えば、顧問先の領域を参照できるようにする予定です。

会計データをバックアップしても繰越して別データが作成されても内部的なIDは共通です→この意味がわかりません

失礼しました。Aという顧問先の会計データであればUSBへコピーしても常にAという顧問先のスマート証憑管理領  
域を参照します。

自計化していない顧問先が証憑管理サービスを利用してアップロードした証憑は会計事務所でも見れるようになるの  
でしょうか？

証憑管理サービスは、会計事務所と顧問先の何れも必要な設定を行えば参照可能となります。記帳代行の場合、会計  
事務所は弥生会計/証憑管理何れでも確認可能、顧問先は弥生会計をお持ちでないため証憑管理で確認可能となりま  
す。

顧問先がMISOCAだけを利用しており、弥生会計は利用していない場合も、顧問先が証憑管理サービスを利用して  
アップロードした証憑は会計事務所側で見ることができるのでしょうか？

証憑管理サービスのデータ共有機能を提供予定です。必要な設定を行えば会計事務所が顧問先の領域を参照するこ  
とが可能となります。

会計事務所と顧問先間のデータ共有(2023.5月頃対応)は、「証憑管理サービス」を通して行うイメージとなりますで  
しょうか？電帳法等に関係しない資料の授受では利用できないのでしょうか？

顧問先と同じように証憑管理サービスを利用して操作頂く流れです。データストレージではないので電帳法等に関係  
しない資料等の授受は原則できません。ただし、契約書等の関連ファイルのアップロードは可能です。



## ■電子帳簿保存法について

自動取込メールアドレスを使った自動アップロードを使用すれば、インボイス制度の事務処理規定の策定は不要になるという解釈で合っておりますでしょうか。

結論から申し上げますと、事務処理規程の策定は必要となります。自動取込メールアドレスを使った自動アップロードを使用したとしても、電子帳簿保存法の要件を満たすためです。

電帳法QA38の取扱いは初めて知りました。この取扱いになるのであれば、訂正削除が出来ない仕組みを取り入れる意味がなくなってしまいますね。

電子帳簿保存法のうち電子取引については帳簿保存・スキャナ保存と異なり、必ずしも取引データの訂正削除履歴の要件は規定されておられませんので、事務処理規程を設けることで対応できるようになっております。(参照：電子帳簿保存法施行規則第4条1項4号)

スマートフォンアプリの「弥生レシート」で撮影した請求書を弥生会計に取り込んでも、電子帳簿保存法の「スキャナ保存」の要件を満たすことはできますか？

「証憑管理サービス」を使用しなくても電子帳簿保存法に対応できるのか、顧問先様から質問を受けましたので、お聞きいたします。

「弥生レシート取込」で撮影した請求書を弥生会計に取り込んだ場合も、電帳法の要件を満たした形でサービスを提供予定です。リリース予定についてはニュースレター等でご案内致します。

電子帳簿保存法の保存期間ですが、別の会計ソフトに移りたい場合は、あんしん保守サポートが切れてからも閲覧、ダウンロード、検索等が可能でしょうか。

登録済みの閲覧・ダウンロード・検索は可能ですが、追加のアップロードについては対応できません。

証憑管理サービスについて、電子帳簿保存法にそって保存されるPDFデータは、各々の弥生IDに帰属するイメージでしょうか。具体的な例で言いますと、顧問先から頂戴したレシート等をPDF化してインポートした場合で、マニュアルではそのデータを証憑管理サービスを通して顧問先も閲覧できる説明ですが、契約終了後により事業所との連携が絶たれた後も、顧客側で過去分の証憑データを電子帳簿保存法に則った形で閲覧が可能なのでしょうか。ご回答願います

契約終了後の顧問先様においても顧問先様側で電帳法の要件に合わせた形で閲覧できるような仕組みを鋭意検討中です。詳細については決まり次第のご案内とさせていただきます。

スマート証票管理のベータ版でのタイムスタンプ付与終了について説明していただけないでしょうか。また来年3月予定のスキャナ保存制度への対応とタイムスタンプの関係について教えていただけますでしょうか。その際、スマート証憑管理の利用に関して追加費用は発生するのでしょうか。

まず、タイムスタンプ付与終了についてですが、タイムスタンプに代わり、訂正削除履歴を取ることで法的要件を満たすことといたしました。

次に、来年3月予定のスキャナ保存制度への対応とタイムスタンプの関係についてですが、タイムスタンプの代替として訂正削除履歴の対応を行うことでスキャナ保存制度へも対応すると認識しております。その際の【スマート証憑管理】への追加費用は発生いたしません。



## ■記帳代行支援サービスについて

記帳代行に関してですが、顧問先での証憑のアップロードというのは、紙をPDF等に変換してもらうということではないのでしょうか？

ご認識の通りです。PDFなどの電子データに変換後アップロードしていただくかたちになります。

記帳代行支援サービスはお客様の方で利用することは可能でしょうか？

「記帳代行支援サービス」はPAP会員のみがご利用いただけるサービスです。

来年春より「記帳代行支援サービス」で管理をしている顧問先でスマート証憑管理が利用できる予定です。

## ■弥生販売・Misocaについて

士業など、販売管理までは必要なく、数件しかない発行請求書をインボイスとして保存するような、Misocaを使用せず、請求書（領収書）の発行と保存をすることができるよう変更はないのでしょうか。

Misoca、弥生販売を使用頂かないと請求書と領収書の発行はできません。

しかしながら、Misocaを導入頂ければ請求書と領収書の発行及び発行控の保存は実現可能です。

※Misocaは月間請求書の作成が5通までは無償となっております。

Misocaは外貨対応する予定ですか？

現状対応予定はございません。

今現在、弥生販売の仕入機能で仕訳作成及びファームバンキングデータを作成しています。スマート証憑管理から弥生販売への連携の予定はありますでしょうか？（スマート証憑管理から支払伝票及びファームバンキングデータの作成ができますでしょうか？） スマート証憑管理から弥生会計で買掛計上できれば、特に弥生販売から弥生会計への仕訳連携は使わなくても大丈夫です。

現状は対応しておりませんが、今後検討させていただきます。スマート証憑管理は機能追加を継続していく予定でございますので、今後にご期待ください。

弥生販売で既発行の請求書を修正した場合は証憑管理サービスではどのように取り扱われるのでしょうか？

関連付けは自動で行われますか？

再発行、再送信した際に、スマート証憑管理に連携されます。スマート証憑管理には、関連ファイルというタブを用意しておりますので、当初作成いただいた請求書に再発行いただいた請求書を関連づけることができます。

関連付けについて現状は手動での関連付けが必要になります。ご要望として承ります。機能アップデートしていきますので、ご期待ください。

請求書を専用メールアドレスへ送付する場合、弥生さんのほうのセキュリティソフトでウイルススキャンをしていただけということでしょうか？

詳細については、関連部署と連携させていただきます。

現状、弥生として然るべき対応は取らせていただく予定となっております。

## ■弥生給与・やよいの給与明細 オンラインについて

**WEB年末調整機能について、2022年は限定提供とのことですが、操作感を確認するだけということでしょうか？それとも、実際の年末調整業務に使用できる程度の機能が利用できるでしょうか？**

2022年の限定提供においては、年末調整の各種控除申告書のWeb提出から提出後の内容確認までの流れを実際の操作でご確認いただけるよう、機能をご提供する予定です。

**弥生の勤怠管理サービスはリリース予定ございますか？**

勤怠管理のサービスにつきましては、検討はいたしておりますが、リリース有無等具体的な内容につきましては未定となっております。ご了承ください。

**やよいの給与オンラインで社会保険等の手続書類（算定基礎、月額変更は、今後対応する予定はあるのでしょうか？**

社会保険等の手続への対応につきましては、検討はいたしておりますが、リリース有無等具体的な内容につきましては未定となっております。ご了承ください。

**給与オンラインは、追加料金は月額200円、安心プラン分はサポート内容により年額ということでしょうか？各月は**

新やよいの給与明細 オンラインの料金は、基本料金がプランに応じて年額、追加料金はWEB給与明細の人数超過分について月額200円、管理者のライセンス追加についてはプランに応じて月額の課金となります。

**WEB給与明細のスタッフ用のIDは自動で作成されるのでしょうか？**

WEB給与明細をお使い頂く従業員用の弥生IDは、管理者（会社）からの招待メールを受けとって頂いた後に従業員の方に取得手続きを行っていただく流れとなります。

**弥生給与や、やよいの給与計算からのデータ移行は可能ですか？**

弥生給与、やよいの給与計算から新やよいの給与明細 オンラインへはデータ移行に未対応です。

**パートナー版では、今年の年末調整からweb年末調整申告書が利用できるのでしょうか。**

はい、弥生PAP会員のみなさまには本年度からweb年末調整申告書の機能をご提供予定です。

**弥生の給与明細オンラインでの毎月の給与計算結果は弥生会計への仕訳の取り込みは可能でしょうか。**

新やよいの給与明細 オンラインでの給与計算結果から弥生会計への仕訳連携は未対応です。  
リリース後での対応について検討させていただきます。

**デスクトップ版を現在利用の方も、給与クラウドへの切り替えを希望されると思いますが、この場合は紹介制度の利用はできますか。また料金はどのようになるのでしょうか。**

紹介制度の利用自体は可能です。ただしデスクトップ版と今回ご紹介した新やよいの給与明細オンラインとの間では対応する業務範囲や機能に差異がございますので、顧問先様のニーズにかなうものであるかご確認ください。

**弥生の給与明細オンラインのコーナーで、PAP会員に向けて無償提供(?)との話があったかと思えます。どのように入手すればよいのでしょうか。**

新やよいの給与明細 オンラインのパートナー版は弥生PAP会員の年会費でお使いいただけます。

また、弥生PAP会員向けに限定提供する2022年分のWeb年末調整申告書につきましては、追加料金等は発生せず、お使いいただけます。

**給与明細オンラインは、IPアドレス制限はかけられますか？**

IPアドレス制限の機能は設けておりません。

**従業員の弥生IDのコントロールは会社側でできますか？**

誠に恐れ入りますが弥生IDの取得・管理は従業員自身で行って頂くこととなります。

**弥生給与にはWeb明細機能の予定はないのでしょうか？**

本日より紹介しておりますWeb給与明細につきましては、「やよいの給与明細 オンライン」のみでの提供を予定しております。弥生給与/やよいの給与計算での同機能提供は現在未定です。

**給与明細オンラインにおいて社会保険の定時決定や随時改定は実装される予定はあるのでしょうか。**

現時点で具体的な時期は未定ですが、社会保険手続きも含めて対応する業務領域を広げていきたいと考えております。

**新やよいの給与明細オンラインは、何名程度管理できますか？**

新やよいの給与明細 オンラインは従業員の登録は無制限に行えますが、利用する上での推奨人数としては30名程度までとしております。

**給与明細オンラインと弥生会計の仕訳連携は可能なのでしょうか？**

やよいの給与明細 オンラインから弥生会計への仕訳連携は現在未対応です。

**弥生給与を使用しているクライアントの従業員から、Web給与明細の要望があるので、弥生給与でも導入していただけると嬉しいです。**

弥生給与をご利用のお客様からのお声も踏まえて、今後機能実装を検討させていただきます。

**給与明細オンラインで従業員100名で利用する場合の料金はいくらになりますか？（全員がWEB明細利用するかどうかで価格は変わりますか）逆に言うとWEB明細利用しない場合の金額はいくらですか？**

やよいの給与明細 オンラインはお選びいただくプランによって料金が変わります。

また、ご高察の通りWeb給与明細の利用人数に応じて料金も変動いたします。

ただし、Web給与明細の超過利用料金については、キャンペーンにより2023年10月までは無料となります。詳しくは以下ページをご確認ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/service/efficiency/payroll-ol/index.html>

なお、やよいの給与明細 オンラインは従業員30名程度まででのご利用をお勧めしております。



**弥生様としては、デスクトップ版からクラウド版への全面移行は検討されているのでしょうか。検討されているとしたらいつ頃を想定されていますか？**

弊社としては、現在デスクトップ製品をご愛用頂いているお客様にもご検討いただけるように給与クラウド製品の拡充に努めて参りたいと考えております。具体的な時期につきましては、お伝えできる段階に至りましたらご案内いたします。

**Web年末調整の提供時期はいつ頃ですか？**

弥生PAP会員向けのWeb年末調整申告書の機能提供は、新やよいの給与明細 オンラインの提供開始と同日の2022年11月17日を予定しております。

**今の説明を聞く限り、対処のお客様が新やよいの給与明細オンラインを使いこなせる(時間的にも)とは思えません、むしろ、会計事務所等主導で、弥生給与のWeb明細書の対応をした方が良いと思います。競合他社に後れを取っている現状では。当方の顧問先様は、弥生給与のweb明細対応が無く痺れを切らして他社に移行しようとしたため、サードパーティの弥生給与連携のWeb明細(pdf明細)作成ソフトを進めてつなぎ留めました。ぜひ早く、弥生給与の時代へのアップデートが必要です。**

貴重なご意見ありがとうございます。ご提起頂いた趣旨を鑑みて引き続き製品・サービスの改善を検討して参ります。

**Web年末調整申告書から弥生給与または達人シリーズにデータを取り込むことはできますか？**

達人シリーズに対してはWeb年末調整申告書からのデータ取込に対応を予定しております。

弥生給与につきましては未対応となります。

**顧問先が給与明細オンラインを利用しています。が大幅リニューアルされますが、今回の資料(についての説明)のようなものは顧問先に提供されるのでしょうか。**

給与明細オンラインリニューアル版のリリース後、事業者(顧問先)にてご確認頂ける案内ページを公開いたします。また、弥生PAP会員様に顧問先に向けた「リニューアル説明資料」をご提供しています。下記URLページよりダウンロードしてご活用ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/service/efficiency/payroll-ol/index.html>

**給与明細オンラインでは外部の勤怠データをインポートする機能はありますか？**

リニューアル後の給与明細オンラインにおきましても外部の勤怠データのインポートは未対応となります。

**弥生IDの管理ができない場合、退職者が退職後に弥生ID**

**を利用してデータにアクセスすることができてしまうことになりませんが、そのあたりはどのように管理されますでしょうか？**

やよいの給与明細オンラインのWEB給与明細などにアクセスできる従業員は、事業者が設定により招待および招待解除が可能です。したがって、退職者のアクセスを止めたい場合には、当該退職者の招待解除を行うことで、アクセス不可となります。



顧問先の給与計算をしているが、当事務所がPAP会員で購入している弥生給与で給与計算して顧問先様従業員さんのスマホに送信することはできるのでしょうか？顧問先様は弥生給与を購入していない。現在は、PDFデータあるいは紙の給与明細をお渡ししています。

弥生給与で作成した給与明細を従業員のスマートフォン等に配信することには未対応です。

そうした業務を行って頂くには、連動製品のご利用を推奨しています。

詳しくは下記ページをご確認ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/products/payroll/function/relation.html>

**新しいやよい給与明細オンラインでも支給額の明細一覧をcsvでダウンロードできますか？**

ダウンロード可能です。

**新弥生の給与明細オンラインですが、今デスクトップ版の弥生給与からコンバートするためのツールは用意していただけののでしょうか？**

現状においては、デスクトップ版の弥生給与から新やよいの給与明細 オンラインヘデータをコンバートするツールのご提供はいたしておりません。誠に恐れ入りますが、ご了承ください。

**弥生給与から従業員データを新やよいの給与明細オンラインに従業員のデータのみでも移行はできないのでしょうか？**

弥生給与から新やよいの給与明細 オンラインへの従業員データの移行には対応いたしておりません。

誠に恐れ入りますが、ご了承ください。

**弥生給与から新弥生の給与明細オンラインにデータが移行できないのであれば、新弥生の給与明細オンラインは何のためのソフトなのでしょうか？**

小規模の事業者が給与明細書を簡単に作成し、従業員にWebで配信するためのクラウドアプリです。

弥生給与と連携するソフトではなく、単体でご利用いただくものとなります。

**今のデスクトップ版弥生給与で作成した給与明細を従業員にWebで配信するためのアドオンとかはないのでしょうか？**

デスクトップ版の弥生給与で作成した給与明細を従業員にWebで配信いただくには、弥生給与連動製品のご利用をおすすめいたしております。以下のURLのページを合わせてご参照ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/products/payroll/function/relation.html>

**今、デスクトップ版弥生給与を使って給与計算をしております。今のスライドで新やよいの給与明細オンラインで従業員の給与明細をpdfを作成する場合、従業員別に個別にpdfファイルを一度の操作で作成する画面がありました。しかし、デスクトップ版弥生給与では一度の操作で個別のファイルを作成できなかったかと思います。可能であれば、一度の操作で個別の給与明細のpdfファイルを作成できるような形を検討していただけますでしょうか？**

貴重なご意見ありがとうございます。いただいた内容は弊社における、今後の製品開発にて検討させていただきます。

**デスクトップ版の弥生給与を利用しているクライアントからクラウド版に変更する場合には何か、手当されているのでしょうか。**

現状においては、デスクトップ版の弥生給与からクラウド版の新やよいの給与明細 オンラインへの変更は想定いたしておりません。対象となる事業者の規模や業務の範囲などが両者で異なるためです。

誠に恐れ入りますが、ご了承ください。

## ■その他

### PAPにまだ加入していませんが、今後入会のキャンペーンは予定されていますか？

各拠点もしくはオンラインにてPAP説明会を開催中ですので、ぜひご検討ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/pap/about/seminar.html>

### 弊社は弥生会計を良く導入しますが、そのほかのソフトウェアの仕様についてあまり提案経験がなく、お客様へのデジタル化に向けて総合的にバックヤード業務を支援していきたいと考えております。よい学習方法はありますか？

弥生シリーズの自己学習については、弥生スタートアップガイド(動画)で利用方法を学ぶことができますのでぜひご活用ください。詳細については、こちらのURLをご参照ください。

<https://www.yayoi-kk.co.jp/startupguide/index.html>

また、お伺いして職員様向け勉強会実施のご要望等ございましたらアンケートにご記入いただければと思います。最大限、対応できるように検討いたします。

### 弥生会計で弥生販売の仕入先台帳のような台帳はありますか？

弥生会計において台帳は現状ございません。

### デジタル化は素晴らしいと思います。しかしサイバー攻撃などでインターネットが利用できない状況も想定する必要があると思います。弥生様はそのあたりのリスク対応についてどのように考えておられますか（例えば弥生会計オンラインを利用しているユーザに弥生会計デスクトップの利用許諾を行う等）

ご懸念、ごもっともと存じます。弊社でも同じ認識を共有しております。

一方で、リスクを完全に排除しようとする、利便性を著しく損なう結果になることも事実です。完全な排除はできませんが、問題が生じた際は、いち早く対応できるよう社内の体制を用意しております。

今後は、これまで以上に社会がインターネットなどの情報インフラに依存していく世界となると考えておりますので、弊社単独で対応するというよりは、日本社会全体による法整備などの対応、個々人のリテラシーの底上げなど、様々な方面からの対応が必要と考えております。

### IPアドレスの制限ができない場合、データのアクセスに関する安全性はどのように保たれますか？アクセスログの提供は可能でしょうか？

データのアクセスに関する安全性については技術面・運用面含めて安全管理上の措置を行っております。また、マイポータルWebにおいて弥生オンラインへのログイン履歴をご確認頂けます。

### スマート取込みの、レシートのOCR取込みについて質問があります。駐車場のレシートがいつも「要確認」となっていて、手動で直しております。こちらの読込みについて、性能のアップデートについて、ご検討宜しくお願い致します。

いただいたご要望については鋭意検討させていただきます。

### 法人の消費税申告書をetaxソフトに取り込みできるようになりますか？個人はできるのですが、法人は対応していないみたいですが。

税務申告は現状達人シリーズ等をご利用いただいております。ご要望として承ります。

### また、弥生会計への機能のお願いなのですが、「銀行出納帳データのみ、～月まで入力情報をロックする機能」が欲しいと思います。(弥生ドライブで共有するデータを、お客様が預金のデータを変えてしまい過去の残高が合わず・・・という事があるためです) ご検討お願い申し上げます。

ご要望として承ります。